

オープンサイエンスのための 研究データ基盤とは

- オープンサイエンスの実現に向けて、研究データの管理→公開→検索（発見：ディスカバリ）の一連のワークフローをサポート
- 公開基盤と検索基盤は、論文用に開発されてきた基盤やコミュニティを活用しながら研究データ基盤に向けて発展
- 管理基盤は、
 - 研究者が日常の研究活動の中で研究データを管理・共有可能
 - 個人あるいはプロジェクト単位（含ラボでの利用）で利用
 - 研究成果の根拠となる研究データを管理・保存可能
 - 公開情報だけでなく非公開情報についても管理
 - 公開時に必要となるメタデータ情報などを管理可能
 - これまで研究データの公開とは縁がなかった研究者にオープンサイエンスへの参加障壁を軽減するための基盤

研究者が負担に思うことなくオープンサイエンスに参加するためには管理基盤の存在が不可欠